

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	都市工学	担当教員	藤田素弘		
学年学科	4 年 環境都市工学科	前期	選択	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(D-2・社会技術系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 本授業では、都市計画と管理の基礎として、都市交通と都市との関わりを主に教授する。まず交通調査の方法や都市交通計画のプロセスといった基礎的内容から、これからの都市交通計画のあり方について学ぶ。さらに、情報処理センターを活用して都市工学に関する演習に取り組む。具体的な目標は以下のとおりである。 ①都市工学における交通の役割の理解 ②都市交通調査・行動分析の手法の理解 ③都市交通計画の理解 ④これからの時代の交通計画のあり方の理解 ⑤地区交通計画と都市交通環境管理の理解		<b>成績評価の方法：</b> 総得点数 100 点＝中間試験 45 点＋期末試験 45 点＋課題提出 10 点で成績評価を行う。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 <b>達成度評価の基準：</b> 国家公務員採用一般職試験（大卒程度・土木）および技術士一次試験建設部門、技術士二次試験建設部門「道路」の関連問題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。下記①～⑥の成績評価への重みは均等である。 ①都市計画の機能と現状、および都市交通における課題についてはほぼ正確に（6 割以上）説明できる ②パーソントリップ調査、離散選択モデルについてはほぼ正確に（6 割以上）説明できる ③四段階推計法に関する計算問題についてはほぼ正確に（6 割以上）解くことができる ④これからの交通計画のあり方についてほぼ正確に（6 割以上）説明できる ⑤地区交通計画と都市交通環境管理についてはほぼ正確に（6 割以上）説明できる			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 配布プリントと演習を中心に進める。授業で紹介した各種手法について、その意味を理解するだけでなく、実例を教科書・インターネット等で知り、理解を深めること。また、授業の範囲が広範囲に及ぶので、内容全体を理解するように努めることが望ましい。					
<b>教科書：</b> 都市計画(第3版) (樗木 武著, 森北出版, 2012) <b>参考書：</b> 読んで学ぶ交通工学・交通計画 (久保田尚他著, 理工図書, 2010), 交通工学 (北村隆一編著, オーム社, 2009)					
授業の概要と予定：前期			教室外学修		
第 1 回：都市計画と交通計画の意義と目的 (交通の定義と役割, 都市工学における課題)			わが国の都市交通の現状について諸先進国と比較してまとめる		
第 2 回：都市交通調査 (交通流の基本特性, 道路交通の特性, パーソントリップ調査, アンケート調査)			交通流観測に関する演習自分が知っている場所の道路交通状況について道路交通センサスを用いて調べる		
第 3 回：都市交通計画の概要			自分が知っている都市の都市交通計画を調べる		
第 4 回：都市交通計画① (交通需要予測：その1)			生成交通量, 発生・集中交通量推計に関する演習		
第 5 回：都市交通計画② (交通需要予測：その2)			分布交通量, 手段別交通量に関する演習		
第 6 回：都市交通計画③ (交通需要予測：その3)			配分交通量推計に関する演習		
第 7 回：都市交通計画④ (これからの時代の交通計画)			人口減少時代の交通計画のあり方についてまとめる		
第 8 回：中間試験					
第 9 回：交通行動分析① (非集計モデルの基礎・適用方法および計算手順)			意識データを用いた非集計分析に関する演習		
第 10 回：交通行動分析② (非集計分析の実際)			離散選択モデルに関する演習		
第 11 回：交通安全対策 (交通事故の偶発性, 交通事故要因分析, 人と車の共存)			交通安全対策の効果評価事例についてまとめる 合意形成の事例についてまとめる		
第 12 回：道路網計画 1 (道路網計画, 路線計画)			都市における道路網の計画の考え方を纏める		
第 13 回：道路網計画 2 (地区交通計画)			住宅地区内の交通計画について纏める		
第 14 回：道路交通環境 (交通環境の計算手法)			道路交通環境計算のための演習		
第 15 回：まちづくりと都市交通計画 (駐車場整備や公共交通などと都市工学)			駐車場整備や公共交通などと都市との関係について纏める		
期末試験			-		
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)			-		